

第643回建設技術講習会を津市で開催

平成30年度最初の建設技術講習会となる第643回建設技術講習会が、津市で平成30年8月29日(水)～31日(金)の3日間、「これからの社会インフラの維持管理・更新現状」をテーマに、全国から285名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の2講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- インフラメンテナンスの時代について
- 公物管理の瑕疵～最近の判決事例分析～
- 地域事業の紹介 2事例

講習会2日目は、下記の講演が行われました。

- 公営住宅における維持管理と更新について
- 港湾における最新の維持管理の取り組みについて
- 下水道事業マネジメントの推進について
- 河川事業における維持管理・修繕の最新の取り組みについて
- 道路事業における維持管理・修繕の最新の取り組みについて

講習会3日目の現場研修は、160名が参加して「東海環状自動車道 大安IC建設事業」、「新名神高速道路 菟野第一高架橋」、「志登茂川浄化センター」について現地で説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、恒例となった「参加者同士の交流会・講師との意見交換」を69名の参加をいただいて開催しました。地元協会のご好意により、伊勢志摩サミットで各国の首脳に提供された地元の銘酒のご提供もあり、盛況のうちに終了となりました。

第644回建設技術講習会を仙台市で開催

第644回建設技術講習会が、仙台市で平成30年9月12日(水)～13日(金)の3日間、「工事積算(土木・建築)の動向と工事施工における合理化、安全対策」をテーマに、全国から243名の参加を得て開催されました。

講習会初日は、下記の3講演が行われました。

- 建設マネジメントの最新事情について
- 公共工事と会計検査～設計、積算、施工における留意点～
- 建設生産システムの生産性向上について

講習会2日目は、下記の講演と講習会3日目の現場研修で視察する地域事業の事前紹介が行われました。

- 公共建築工事の円滑な施工確保対策について
- ヒューマンエラーの原因と対策
- 土木工事標準歩掛の最近の動向と適用上の留意点について

- 建設工事における事故と安全対策について

- 地域事業の紹介 2事例

講習会3日目の現場研修は164名が参加して「石巻旧北上川河口部河川復旧・復興事業」、「洲崎地先海岸災害復旧事業」、「仙台市東部復興道路整備事業」について現地で説明を受けました。

また、1日目の講習終了後、ここでも「参加者同士の交流会・講師との意見交換」を61名の参加をいただいて開催しました。地元協会から地元の銘酒十数本のご提供というご厚意も加わり、熱気に包まれ盛況のうちに終了となりました。

第255回研修委員会が開催されました

—研修委員会—

平成30年8月24日(金)、協会会議室において岡村次郎委員長(国土交通省大臣官房技術調査課長)はじめ委員8名の出席のもと、平成30年度に開催する各研修会の実施計画などを審議いただくため、研修委員会を開催しました。

委員会ではまず、委員長が先の石原氏から岡村氏に交代したことをはじめ、副委員長や委員にも交代があったことが報告されました。また、西日本を中心に襲った7月豪雨の影響で、7月5日～6日に開催された実施研修会「明石海峡大橋」が開催途中で打ち切りになったことや、同じく実施研修会「平成29年7月九州北部豪雨の現状」を中止としたことが報告されました。

続いて下記の事項が審議され、原案が了承されました。

なお、一部講師が未定の講義については、後日委員長の了承を得て決定することとなりました。

- 議題1. 建設技術講習会等の実施について

- *第648回(於:秋田県秋田市)

「都市行政の課題・河川行政の課題」

- *第649回(於:熊本県熊本市)

「災害に強い安全な国土づくり」

- *実地研修会(於:福岡県福岡市)

「平成29年7月九州北部豪雨の災害復旧事業及び小石原川ダムの建設とその機能と役割」

- 平成31年度講習計画案

- *開催都市、開催テーマに関する計画案

平成30年度公共工事品質確保技術者資格更新講習始まる

公共工事品質確保技術者資格試験に合格し資格登録した資格保有者は、3年毎に更新講習を受講して資格登録更新手続きをする必要があります。

この資格登録を更新するための平成30年度更新講習が、9月7日の東京都を皮切りにして始まりま

した。最終となる11月16日の福岡市まで、東京都を含めて全国10都市で開催されます。更新講習を申し込まれている皆様は、受講場所と日時をご確認のうえ講習にお越しください。

なお、10月以降の実施都市及び日程は、以下のとおりです。

講習実施都市と日程

札幌市 平成30年10月5日(金)	仙台市 平成30年10月26日(金)
新潟市 平成30年10月12日(金)	名古屋市 平成30年10月19日(金)
大阪市 平成30年10月26日(金)	広島市 平成30年10月19日(金)
高松市 平成30年11月9日(金)	福岡市 平成30年11月16日(金)
浦添市 平成30年11月2日(金)	

【問い合わせ先】

事業課 下野・高野・古川

TEL：03-3585-4546・FAX：03-3586-6640

E-mail：hinkaku@zenken.com

**「2019年全建手帳」販売中。
大きく改定し、使いやすくなっています。**

2019年版全建手帳は、今年も会員皆様のご意見

などを反映させ、さらに使いやすくなるよう大きく改定を行い、現在販売中です。

本手帳は一般の手帳の便利さに加え、社会資本、災害関連の統計資料などを充実して掲載し、技術者の皆様により使いやすい内容となっています。

主な特徴は次のようなものです。

- 昨年より一回りサイズを大きくし、より使いやすい大きさにになりました。
- 便利なペン差し付き大型ポケットにしました。
- 用紙を文字が裏写りにくい薄黄色にしました。
- 資料編を2色化し、見やすくしました。資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。
- カレンダーの収録期間が2018年11月1日から2020年3月31日までと長く、新しい手帳への移行に便利です。また、建設技術関係の月間や記念日、地域のお祭り、イベント予定日などを掲載しました。
- 定価700円(税込)

【問い合わせ先】

企画課 露木・竹村

TEL：03-3585-4546・FAX：03-3586-6640

E-mail：kikaku@zenken.com

Dr.クマの“健康のヒント”

不眠症にもいろいろ



たまに眠れない日があるのはよくあること、しかし、眠れない日が続く、日中の活動に支障がでてくるようになれば、それは不眠症である。生活習慣や環境、心理的要因、薬や食べ物の影響やなんらかの病気にとまなうものなど、その原因も様々であるし、不眠のタイプにも寝つきが悪い、眠りが浅い、途中で目が覚める、早朝に目が覚めるなど、これもいろいろある。さらに、高血圧や糖尿病などの生活習慣病は不眠症と関連があることもわかってきており、不眠は簡単には済ませられない問題であるが、自分で改善できることもある。まず寝る環境を整えることで、温度や照明の調節、騒音を防ぐ、枕を変えてみる、早起きして日光を浴びる、などだ。布団に入

るのは眠くなってからがよく、早めに布団にはいつて眠ろうとするのはおすすめしない。アルコールは眠りの質が悪くなるので、睡眠薬代わりにしてはいけない。なにより、誤解が多いのが、睡眠薬は強い薬なので頼ってはいけない、というものだ。適切に睡眠薬を使うことで日中の症状は改善するし、うつ病などで見られる不眠には薬が必要だ。ある程度、自分で努力してみてもうまくいかないのであれば、病院を受診して必要に応じて生活指導や薬物治療を受けるのがよい。日中の眠気は仕事の効率や生活の安全性に目には見えなくとも大きな影響があるのだから。

(北里大学 医学部 教授 熊谷 雄治)